



YA・BOOKS

№.20 (2011.3)

～ 最近入った本の中から ～

◆ どまんなか 1～3 (YA!ENTERTAINMENT)

青春!

須藤 靖貴/[著] 講談社 2010.5 テコJ913-スト ①1109911297 ②1109936572 ③1110011110
 小学3年生で野球を始めて以来、剛速球投手でならしていた青居礼文。しかし強豪私立高校からは声がかからず、公立高校に入学し、弱小野球部に入部。礼文は弱点の乾燥肌と戦いつつ投げる。ゴキゲンこと郷木弦三監督の型破りな指導方法で野球部はどんどん強くなる!?

◆ 図書室からはじまる愛

学問は普遍

パドマ・ヴェンカトラマン/著 小梨 直/訳 白水社 2010.6 テコ933.7-ヘン 1109936358
 第二次世界大戦当時のインド。何不自由なく暮らしてきた15歳のヴィドヤだが、ある日、独立運動のデモに巻き込まれ、父親が重傷を負い生活は一変する。身を寄せた親戚の家でも厄介者として扱われる。楽しみはお祖父さんの図書室で過ごすことだけど…。2009年 ポストン作家協会賞受賞。

◆ ピーティ (鈴木出版の海外児童文学)

触れて見ないとわからない

ベン・マイケルセン/作 千葉 茂樹/訳 鈴木出版 2010.5 テコJ933-マイ 1109922405
 生まれた赤ん坊は体がゆがんでいた。脳性まひと診断され、思考する力もないと思われ続け、ただ生かされていたピーティ。でも実はとても思慮深く、魅力にあふれた人物なのだ!
 ピーティときちんと関わった人たちは皆、ピーティを好きになっていく。

◆ マルカの長い旅

生き抜け!

ミリヤム・プレスラー/作 松永 美穂/訳 徳間書店 2010.6 テコJ943-フル 1109941886
 第二次世界大戦中のポーランド。医師である母親・ハンナと姉と暮らす7歳のマルカ。ユダヤ人狩りにあい、国境を目指して歩くが、途中マルカが熱を出して倒れてしまう。マルカがよくなったら列車で合流できるようにしてあげるといふ地元の人の言葉を信じて、ハンナはマルカを置いていくことにするが…。

◆ ピアチェーレ 風の歌声 (Green Books)

歌声にのせて

にしがき ようこ/作 北見 葉胡/画 小峰書店 2010.7 テコJ913-ニシ 1110011174
 ある事情でおじいちゃん、おばあちゃん、おばさん、弟の5人で暮らす13歳の嘉穂。まわりに心配をかけてはいけない、そんな思いの中で過ごしているが、声を風にのせ、歌うことで心が軽くなることを知り…。登場人物がみんなイイ! 2009年 日本児童文学者協会・長編児童文学新人賞受賞。

◆ ウメツフ

なんだか笑える

梅 佳代/著 リトルモア 2010.8 テコ748-ウメ 1110020709
 梅佳代久々の写真集。よくある日常の見落としがちだけど、ちょっと笑えるあんな場面。その瞬間を絶妙なタイミングで切り取るのが上手い! この本を見ると、自分もカメラを持ち歩いてみようかな、なんて思ってしまうかも。

◆ 犬部! 北里大学獣医学部

動物たちを助けて!

片野 ゆか/著 ポプラ社 2010.4 テコ645.6-カ 1109924849
「犬部」(現在は「北里しっぽの会」だそうです。)は北里大学獣医学部の学生サークル。行き場を失った犬や猫を助けようと奮闘する学生たちの姿に圧倒される。ただ動物好き、というだけではなく、こんな風に動物たちの幸せを第一に願っている人たちが獣医になるのか、とちょっとジーンとする本。

◆ 実験でわかるインターネット (岩波ジュニア新書)

どうなってるの?

岡嶋 裕史/著 岩波書店 2010.3 テコJ547-オカ 1109877892
普段、あたりまえに使っているインターネット。その基礎的な仕組みについて、実験を通して理解しやすく解説してくれる。具体的にメールはどうやって届くのかなど、「そうだったのか!」が詰まっているよ。実際にこの本を片手に、パソコンで実験してみてください!

◆ アナザー修学旅行

こんな修学旅行も

有沢 佳映/著 講談社 2010.6 テコJ913-アリ 1109947146
修学旅行に行けなかった中学三年生6人が、同じ教室で代替の授業を受けることに。それまで接点がなかった6人(途中で1人増えるけど...)だけど、この特殊な時間を一緒に過ごすことで仲間意識も生まれて…。こんな「修学旅行」もいいかも。2009年 講談社児童文学新人賞受賞。

◆ 聖夜 (School and Music)

音楽と向き合う

佐藤 多佳子/著 文藝春秋 2010.12 テコ913.6-サ 1110103472
ミッションスクールに通うオルガン部の高校生・鳴海。家を出て行った母親への複雑な感情と、牧師である父親への反発に鬱屈した日々を過ごす。そんな折、学校のコンサートで、母親の思い出が付きまとうメシアン難曲を弾くことになるが…。『第二音楽室』に続くSchool and musicシリーズ第2弾!

◆ 失恋延長戦

切ないよ!

山本 幸久/著 祥伝社 2010.3 テコ913.6-ヤマ 1109871781
高校生の真弓子は同じ放送部の大河原君に片想い中。でも、気持ちを伝えられないまま、あっさり大河原君は他の女の子と付き合ってしまう。真弓子のそばにはいつも犬らしくない柴犬・ベンジャミンがいて、その掛け合いがとてもほのぼのしてて〇。最後まで読むとタイトルに納得!? ああ切ない!

◆ 虹色の皿

シェフへの道のり

拓末 司/著 角川書店 2010.11 テコ913.6-タ 1110099226
ある日テレビで見た本間シェフの「皿に盛るのは僕自身」という言葉に感銘を受け、小西比呂は料理人になることを決意し、調理師学校に入学。卒業後フレンチレストランに就職したものの、一人前のシェフになるための毎日は、思った以上に辛い。果たして比呂に耐えられるのか? この本、読後とても爽やかな気分!

地元が舞台! ☆☆☆☆

名古屋の高校生探偵・甘栗晃が久々に戻ってきた! 『甘栗と戦車とシロノワール』(太田 忠司/著 角川書店 テコ913.6-オオ 1109866450)の中で、名古屋の街並みを甘栗の愛(自転)車が疾走するぞ! ちなみに前作は『甘栗と金貨とエルム』(テコ913.6-オオ 1109018314)
『100km!』(片川 優子/著 講談社 2010.8 テコJ913-カ 1110042671)では三河で開催されている歩け歩け大会に、主人公が参加する。100km歩く事で果たして何が見つかったのか? 読んだ後、ちょっと歩いてみたくなるかも?
『おやすみラフマニフ』(中山 七里/著 宝島社 2010.10 テコ913.6-ナカ 1110064937)は名古屋の音大が舞台。秋の演奏会を控え、完全密室で保管されていたはずの大学のストラディヴァリウスのチェロが盗まれてしまう。大学は警察には届出しないと言うが…。前作『さよならドビュッシー』(宝島社 2010.1 テコ913.6-ナカ 1109813886)に登場した岬先生が今回も活躍するぞ!